

輝の上のまじ



た報

# たばし



## 栲原子ども園 入園式 りす組 (4月7日)

●発行所／高知県高岡郡栲原町役場 tel.0889-65-1111

●発行兼編集／栲原町広報委員会

●印刷所／(有)中島出版印刷

環境にやさしい“SOVINIK”を使用しています。

# 4月号

2015  
<平成27年>  
No.682

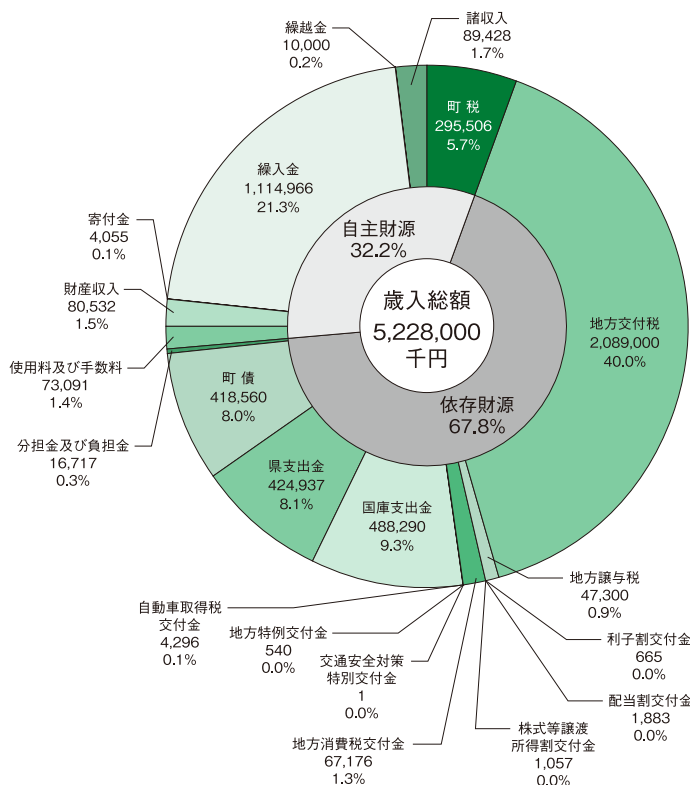
- 世帯数 1,763 (3月初)
- 人口 3,670 (3月初)
- 出生 3 ○死亡 4
- 転入 25 ○転出 37

# 平成27年度 一般会計予算

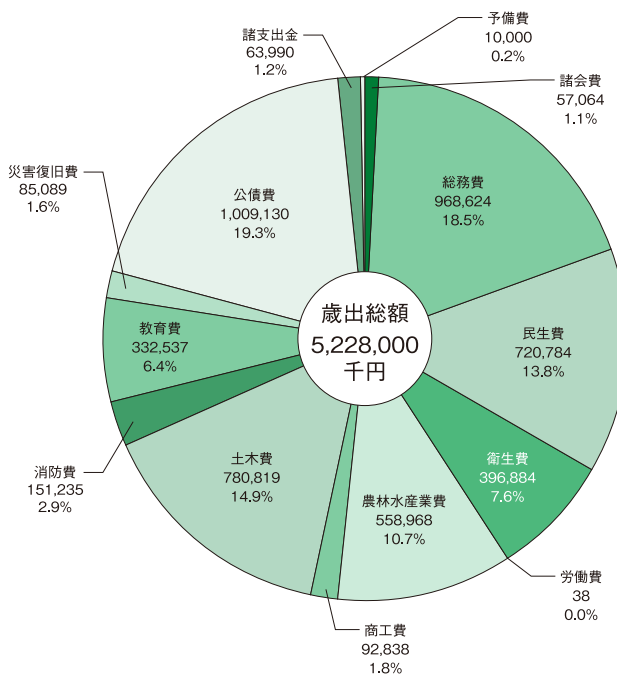
# 52億2,800万円

## 栲原町 一般会計当初予算の状況

### 歳入の状況



### 歳出の状況



## 一世帯当たり、一人当たりの予算状況

会計名	予算額(千円)	一世帯当たり予算額(円)	一人当たり予算額(円)
一般会計	5,228,000	2,955,342	1,312,249
松原診療所特別会計	18,100	10,232	4,543
四万川診療所特別会計	9,700	5,483	2,435
国民健康保険特別会計	620,000	350,480	155,622
後期高齢者医療特別会計	58,000	32,787	14,558
介護保険事業特別会計	479,000	270,774	120,231
簡易水道事業特別会計	210,500	118,994	52,836
農業集落排水事業特別会計	33,700	19,050	8,459
下水道事業特別会計	103,500	58,508	25,979
風ぐるま事業特別会計	49,300	27,869	12,374
病院事業会計	609,300	344,432	152,937
計	7,419,100	4,193,951	1,862,224

平成27年度に臨む

# 施政方針

第319回梶原町3月定例議会が、3月6日から12日まで開催されました。矢野町長は平成27年度に臨み、次のように施政方針を述べました。



## 国・市町村の分岐点6年

本年は、戦後70年の節目の年を迎え、新しい時代に合った国づくりをスタートさせる大きな分岐点の年であります。

また、全国統一地方選挙の年に当たり、高知県議会議員選挙、梶原町議会議員選挙、そして、秋には、高知県知事選挙と地方のまちづくりを考える年でもあります。

また本年は5年に一度の人口

の動向や地方交付税算定の基礎となる重要な国勢調査の年でもあります。

昨年公表された民間団体の試算では、今のままでは、全国の自治体の半分が「将来消滅する可能性がある」とされており、本町もその中の一自治体であります。

そうした状況を考慮し、国では、まち・ひと・しごと創生法を策定し、国づくりの大きな柱にしようと「地方創生元年」と位置付けています。

地方も、「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」の策定をしなければなりません。

そのことは、地方の在り方及び梶原の生き方が問われているということなのです。

地域で大きな格差が生まれる可能性もありますが、私は、今こそ、「梶原が好きだ」「梶原で一生過ごしたい」との思いの実に向けて、先人がこれまで、守り、育て、築いてきた地域資源を活用し、平成32年度を目標

とした、第6次梶原町総合振興計画に沿った事業を起こす時と思っています。そして、今しか、町を一つにする仕組みがつけられる時はないと思っており、梶原の生き方を、自信と誇りをもって策定・提案・実現してまいりたいと考えています。

そのために、企画財政課に「まち・ひと・しごと創生係」を新たに設置し、また、「奥四万十博」の開催に向けて、歴史民俗資料館（まろうど館）を中心とする関連施設の管理を含め、産業振興課の事務所を「ゆすはら・夢・未来館」に移すなど、組織体制の充実を図り、積極的に取り組んでまいります。

## 梶原町の自治経営の基本

まちづくり、自治の基本は「自立」であります。

自立ということの意味は、自分で完結することではなく、周囲と様々な関係を築き、資金の提供を受け、それに見合う価値を生み出している状態のことです。

その価値とは、財貨のみのことではなく、人が役に立っていると思う物やサービスのことであります。

また、「経営」という言葉の意味も、金を儲ける活動のことではなく、経営の本質は、社会に役立つ価値を生み出し、社会から支持されることで生き残り、発展する活動のことです。

時間もかかりますが、着実に歩を進めながら梶原町の担い手を育成し、歴史と文化を引き継いでいかなければなりません。

## 着実に進めてきた環境整備

いつ、どこで、何が、どのように起こるかかわからない異常気象社会の中で、本町を取り巻く環境も大きく変わってまいりました。

命の道については、国道、県道、町道の整備が進み、人、もの、情報の流れが大きく拡大しております。

加えて、町内全世帯に引き込んでいる光ファイバー網の活用など、不利な条件を一気に解消する基盤も充実してまいりました。

また、命の水の確保や住宅の耐震対策、がけ崩れ住家対策の整備により、移住・定住の大きな柱の一つである住環境の整備が大きく進んでまいりました。

そうした中で、本町も、少子化、過疎化が進み人口は四千人を割り、高齢化40%を超えてまいりましたが、移住定住コイネイターや移住者を支えるサポーターの体制により、住環境の整備と合わせ、移住者は増加傾向となっております。

また、地勢条件も変わってきており、農政、林政、商工観光の各コイネイターを中心に、やる気のある方々とともに、生産から加工、販売までの仕組みづくり、六次産業化に向かって取り組んでいるところであります。

また、梶原を担う梶原人づくりでは、「保幼小中高一貫教育」を目指して、「梶原町一貫教育支援センター」の充実と保護者、教員、教育委員会が常に問題と目的を共有し、議論する仕組みづくりに取り組んでおります。

## 国・県の動向

平成27年度国の一般会計予算の総額は、過去最大の96兆3420億円です。国会で審議中であり、

一般会計の歳出は、公共事業費や農業、教育関連予算が昨年度以下となるなかで、社会保障

費は初めて31兆円台となり、地方活性化の目玉とし1兆円の「創生枠」を計上し、経済再生と財政健全化を同時に達成する予算とし、全国津々浦々に景気回復の成果を届けたいとしておりますが、本町の財源を大きく左右する地方交付税は3年連続減額という大変厳しい予算となっております。

一方、県政は「さらなる県勢浮揚を目指し、飛躍への挑戦を続ける」こととし、中山間地域対策を加えた六つの重点施策を引き続き推進していくこととしています。

南海トラフ巨大地震対策費の大幅な増、人財誘致促進、高知家プロモーション強化など産業振興計画関連増などで、平成27年度一般会計は前年度比1.3%増の4584億円と、7年連続のプラスを計上されています。

また、東日本大震災以降、世界で、全国各地で地震や集中豪雨、火山の噴火、豪雪など、地球温暖化が進む中で、何が起こるか分からない環境となり、危機管理体制の整備が急がれております。

本町の予算は、こうした国、県の動向を踏まえ、本町の課題解決に向けて、国・県への依存型の財政構造は変わりありませぬが、「住民の不安の解消」や「福祉のまちづくり」「産業の振興」「移住・定住対策」「人づくり」を重点に六つの社会づくりを推進するために、一般会計では、前年度比0.8%増の52億2800万円となり、11特別会計を合計いたしますと単純合計で前年度比1.3%減の81億9400万円の予算規模となりました。

その内容について、六つの目指す社会ごとに申し上げます。

**「高齢化と過疎地域でも災害に強い社会づくり」「環境」**



**「新しい「福祉のまちづくり」のスタート**

障害者や高齢者、病気のため働けない方をはじめ、全ての町

民が、それぞれの命や暮らしが脅かされる状況になっても、不安が最少限に抑えられ、むしろ希望を持って、明るく笑顔で暮らせる社会。「福祉のまちづくり」を推進してまいります。

その一翼を担う榑原町社会福祉協議会の充実を図るために、積極的な支援を行うとともに町民の総合相談窓口として、不安の解消を図る組織として期待しているところであり、その事務所につきましても検討してまいります。

また、在宅を中心に、高齢者の移動手段の充実や「自分の健康は自分で守る」ことを合言葉に、雲の上の温泉やプール等の地域資源を活用した健康づくりの仕組みづくりを行いながら、病院・保健福祉支援センターの開所から20年目の節目にあたり、予防型社会を目指してシンポジウムを開催してまいります。

**「地域医療体制の充実」**

町民の命を守るために、電子カルテを充実し榑原病院を中心に、四万川・松原診療所の連携・充実を図るとともに、榑原歯科診療所及び榑原町社会福祉協議会との連携により治療活動の充

実と予防に取り組んでまいります。

**「医療保険事業」**

国民健康保険制度は、市町村が運営し国民皆保険制度を根幹から支えてきたところでありますが平成30年度からは都道府県単位と規模を大きくして、財政基盤の安定を目指すこととなりました。本町におきましては、今後の動向を見極めながら厳しい中ではありますが、昨年に続き住民の負担を増額しないで、安心して医療を受けられる制度として、より一層の適正な事業運営に取り組んでまいります。



総合健診

**「介護保険事業」**

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を営めるよう、中間

福祉の施設整備と医療、介護、予防、住まい、生活支援による地域包括ケアシステムの充実を図ることを踏まえると、平成27年度からの介護保険料は25.2%と大幅アップの算定となりましたが、今後の健康づくりや運営基金を活用し14.5%に抑え、基準額は556円増の4380円として、さらなる「予防重視・在宅重視」の仕組みづくりを考えながらサービスの提供に努めてまいります。

**「高齢化と過疎地域でも災害に強い社会づくり」「環境」**

高齢化が進み若い人が少ない地域では、個人の力だけでは対応できない火災や自然災害に対応できる社会の支援の仕組みが重要になっております。そのため、

- マンパワーの確保
- 災害を防ぐ準備
- 災害発生状況の確実かつ正確な情報の伝達・収集
- 災害を最小限に抑える応急措置
- 被災後の復旧を早くする対策

の五つが欠かせない要素であると捉えております。

そのために、本年も引き続きマンパワーの確保に努めながら、消防施設等の整備の充実に努めるとともに、継続して崩壊危険個所の恐れの調査と整備の在り方について検討してまいります。

「備えていたことしか役に立たなかった、備えていたことは十分ではなかった、最大の備えは熟練した人である」との東日本大震災の時、指揮をとった元東北整備局長の徳山氏の言葉を基本に、自主防災組織と消防団及び行政と連携し危機意識を高めるためのミニ講座や防災訓練により危機管理体制の充実を図るとともに、災害発生に備えた防災施設、資機材、備蓄品等の整備を計画に沿い進めてまいります。

○「命の道」の整備

道路は、私たちが生きるための最も重要な社会基盤であります。

その生きるための整備であります国道一九七号「野越バイパス」及び町中心地から松原に至る町道佐渡鷹取線改良事業の本体工事に着手してまいります。

また、主要地方道の未整備区間の工区設定の調査や危険個所

の改修に向けて要望活動に努めてまいります。

さらに、生活道の町道や農林道につきましても、継続的な整備と住民の皆様の日常生活を守り、安全安心な暮らしの確保に向けて町道の橋梁修繕及び耐震計画により、順次改修に努めてまいります。



佐渡地区の改良工事



鷹取地区の改良工事

暮らしの安定と産業の振興・発展  
した社会づくり「産業・くらし」

暮らしの安定を図り、生活をする上で働く場所の確保は、欠かすことのできない定住の大切な基本条件であり、農林業・産業の振興は、本町の重要なテーマであります。

そのために、農畜林商工観光業を連携させ複合的に発展させるために、「産業の振興発展した社会をめざす会（役場、津野山農業協同組合、梶原町森林組合、梶原町商工会）」を中心に、外貨を稼ぐ仕組みづくりに取り組むとともに、新たに「ゆすはら産業担い手育成塾」を趣旨賛同する企業、団体、個人、行政で立ち上げ、「森づくり担い手育成塾」「土づくり担い手育成塾」「商い担い手育成塾」の三つの分野に分けて、着実に「担い手」を育てる仕組みをつくってまいります。

○付加価値の高い農・畜・林  
等一次産業の振興

農業では、大量生産の農家育成への支援と少量多品目を中心としたやる気のある生産者自らが一体となり、生産から販売までお金にかえる経営を行う組織



また、高知県産業振興計画に

位置付けられている原木椎茸の栽培「一億円産業の復活」に向けて、農家の意識改革と原木確保、設置、販売などの仕組みづくりを支援してまいります。

畜産では、地域資源を活用した夏山冬里方式の充実と将来に向かつて持続的な津野山畜産の振興と担い手づくりを目指して、畜産公社と津野山農業協同組合肥育センターの一体化に向けて継続して検討してまいります。

林業においては、大手企業の大豊製材工場の稼働や宿毛市の木質バイオマス発電所の稼働など森を活用する仕組みが大きく変わる今こそ、森林所有者との

意見交換を行いながら森林の育成方法（ゾーニング）を定めて重点投資を図り、生産財、環境財としての育成を見直し、伐採を進める搬出経費について、環境基金を活用し材積1.1m当たり2000円を4000円に、その端材を生かす木質ペレットの原材料の確保に1t当たり2400円を4800円に増額し、継続的に交付することにより、担い手育成と経済の循環につなげてまいりたいと考えております。

また、将来の森林の管理体制を踏まえ、林道、作業道・路について、路網密度1ha当たり100m（現在56m）を目指して、基盤整備の充実を図ってまいります。

商工業・観光においては、梶原の地域資源を使った「食」文化を高めるために、各商店等が企画立案し商品化しようとする事業を支援し、梶原のブランド化を進めてまいります。

また、ふるさと納税を推進するための「特産品の活用」、「ゆすはら元気商品券を活用した地産地消の推進」、さらに「ゆすはらグルメまつり」を総合庁舎駐車場を中心に開催しながら、来年度開催予定の高幡広域内の「奥

四万十博」に向けて、消費拡大による商店街の活性化と交流人口の拡大を図るとともに、観光振興に向けて広域連携の仕組みづくりを考えてまいります。

○自然や環境に配慮したくらしの推進

また、「土づくりセンター」は良質の堆肥が製造できており、生し尿をはじめ地域で産出される廃棄物を有用資源として活用しながら、循環型社会づくりに取り組んでまいります。

また、津野山広域事務組合で処理しています生ゴミ等のRD Fペレット化につきましては、「梶原町廃棄物等減量推進員」の方々と共に指導体制の充実を図り、ゴミの分別と減量化を進めながら施設の老朽化に伴う新たな処理方法について検討してまいります。

鳥獣害対策につきましては、猟友会の方々と連携して年間を通じた駆除対策を行うとともに、同じ生き物として棲み分けのできる栽培方法や鳥獣に荒らされない農地づくりなど、地域ぐるみで学びながら被害対策に取り組んでまいります。

環境先進企業との協働の森づくり事業も10年目を迎えて

おり、新たな連携の仕組みを考えるとともに、環境モデル都市として、町民の生活環境の向上と清流四万十川の水質保全を図るために、合併浄化槽のより一層の推進に努めてまいります。



協働の森づくり事業

自信あふれる梶原人を育てる教育の確立した社会づくり教育

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正による、新しい教育委員会制度の始まりの年であります。梶原の歴史と文化を引き継ぐ梶原人を育てるために、子育て支援の充実と「梶原町一貫教育支援センター」の充実を図り、0歳から18歳までの子供たちの育成に努めてまい

ります。

○幼児教育の充実

子ども子育て三法により「梶原こども園」を認定こども園として充実させ、小学校に確実に繋げていくために質の高い教育の提供と環境づくりに邁進してまいります。

また、「幼児教育アドバイザー」を中心に、幼児教育の構造改革に取り組んでまいります。

○小中一貫教育

学力・体力の低下や家庭の指導力の低下に総合的に対応するため、9年間にわたる教育を実践し、問題解決型をより充実させ具体的な取り組みを進めてまいります。



その方法として、人間関係づくりに焦点をあて、気になる児童生徒への支援体制、「つまずき克服」に向けた取り組み、そして基礎学力の定着と学力の向上を目指し、生徒指導の充実を図ってまいります。

そのためには、生徒を指導する教員の資質の向上が最も大切であり、校長の権限を強化し適切な学習研修事業を昨年に引き続き実施してまいります。

教育の根幹は、学習指導要領にもある国語力であり、学校図書館支援員との連携を図りながら読書の推進、新聞の活用、実践的な国語指導の充実に取り組んでまいります。

こうした取り組みを実現するために、先ず保護者の方々と共通認識が必要であり、学校、PTA、教育委員会が研修会や意見交換会などを行いながら、目的の共有に取り組んでまいります。

○中高一貫教育について

梶原高等学校については、本町の最高学府として位置付け、学校、地域、PTA及び教育委員会との深い連携により、魅力づくり、選ばれる高校づくりに取り組んでまいりました。

そうした中で、勝つことの喜びを感じ遅く成長している野球部への入部を目指し、梶原高等学校を選択する生徒が増加しており、この春の新入生が50人を超える可能性が高く、今後さらに支援体制を強化してまいります。

○教育環境の充実

学習障害(LD)や注意欠陥・多動性障害(AD/HD)、高機能自閉症といった障害を抱えた児童生徒を支援するため、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー及び町単独の教員・支援員を継続して配置し、学校と児童生徒が、落ち着いて学習できる環境づくりと地域ぐるみで子どもたちを育てていただくたく「学校支援地域本部」の充実に努めてまいります。

○国際的に通用する会話を身に付ける教育

幼児期から英語教育をはじめ、幼稚園、小・中学校、梶原高等学校にいたる18年間のプログラムで、国際的に通用する会話を身に付ける人材を引き続き育成するために、町単独の外国語指導助手(ALT)等を、梶原こども園と梶原学園に配置

し、椿原学園の生徒の外国への夏休み短期研修や椿原高等学校生徒の半年、1年間を通じた留学など、英会話教室や英語教育の充実を図ってまいります。

○生涯を通じて楽しく学ぶ場づくりの推進

「生涯学習のまちづくり」として、知識の共有を図る仕組みや「地域総合型スポーツクラブ」を継続させるとともに、坂本龍馬生誕百八十年の年にあたり「第四回龍馬脱藩マラソン大会」の充実を図り、地域力を高めながら健康づくりと体力増進を自らが主体的に進めることに取り組んでまいります。

○伝統文化を引き継ぐ「芸術祭」

本町の千百年の歴史・伝統文化を未来に引き継いでいくことが私たちの使命であります。このため、昨年から新たにはじめました「芸術祭」は、住民の方々の要望であります「音楽」をメインに取り組みたいと考えておりますので、町民の皆様方の多くの作品や演劇、コーラスなどの支援をお願いし、伝統文化を引き継ぐ「人づくり」に取り組んでまいりたいと考えております。

また、来年の町制50周年の「町史」の発行に向けて、資料収集や整理を行ってまいります。

人の尊厳が守られ「絆」を大切に  
する社会づくり「文化くらし」

○「地方創生」・「小さな拠点  
ゆすはら」づくりに向かって



先人達は、激動の時代の中で強い絆による団結力を発揮して、六つの区の充実と町を一つに発展させる心を持ち、決断と実行を繰り返して、人と人の絆の力で不利な条件を克服し、椿原という素晴らしい地域社会を築いてまいりました。

その絆の文化が今もなお、家庭から区という地域社会にまで広く引き継がれています。この絆の良き面を、さらに磨

き「対話力」と「協働力」を高めていくことが、椿原が生きる仕組みの心であると確信しております。

そうしたまちづくりを進める中で、椿原の生き方をあらためて策定し、財源の確保をしなくてはなりません。

先人の皆様方が築きあげてまいりました基盤と自然資源を活用し、さらに、これまで述べた六つのまちづくりを柱に「小さな拠点 ゆすはら」づくりとして、国・県に提案し、施設の場所や内容、設計について本年度取り組んでまいります。

その一つ目は、「人と人の絆  
を大切にすまちづくり」

太郎川公園の森林セラピー基地、温泉、プールに、新たに、エステ、フィットネス施設、特産品販売施設等の整備、また、合わせて老朽化しているホテル、レストランの整備を行い、人の健康再生の場、「新しい道の駅ゆすはら・丸ごとクリニク」として、拠点をつくりたいと考えています。

その拠点として、国土交通大臣から重点「道の駅」として、全国1040か所の内35か所の

一つとして、選定証の交付を受けてきたところであり、今後、各省庁から整備財源等の支援がいただけることになりました。

二つ目は、「支え合う集落活動  
センターとの連携づくり」

その太郎川公園を拠点に、集落活動センター「はつせ」・「まつばら」・「四万川」と「越知面区」・「東区」・「西区」の六つの地域を自立に向かって支援するとともに連携し、生きる仕組みをつくってまいりたいと考えております。

また、生活する拠点「住宅」についても、空き家改修や就業者、担い手の確保のためにも、積極的に取り組んでまいります。



さらに、農畜林業の複合経営を目指して、「ゆすはら産業担い手育成塾」を創設し、着実に人材を育ててまいりたいと考えています。

このように、雇用の場、農畜林商業の担い手育成、経済活動の場として、新しい人の流れをつくってまいりたいと考えています。

三つ目は、「保健・医療・福祉・  
介護の充実したまちづくり」

在宅を基本に、特別養護老人ホームに入所される間の見守り支援体制の拠点として、中間的な施設（高齢者住宅・小規模多機能型ホーム等）の整備を図り、緊急の介護支援や見守りなど、いつでも入所退所ができる仕組みをつくり、在宅介護での地域包括ケアシステムの充実を図るために取り組んでまいります。

四つ目は、「生きものにやさしい  
低炭素なまちづくり」

高知県と四国エンジニアリングと本町において、平成27年2月9日に基本協定を締結いたしましたので、今後は、国のエネルギービジョン等の動向をしっかりと捉えながら、四国カルスト台地に2000kwの風力発電

施設（現在の計画風車8基）が設置できるかどうかの調査や検討を行うとともに、その他太陽光発電や給湯器等の推進を図り「環境モデル都市」として、自然再生エネルギー自給率100%を目指してまいります。

また、構想のもう一つの大きな柱であります森林資源のエネルギー活用を進める「木質バイオマス地域循環利用モデルプロジェクト」につきましては、木質ペレット工場の原材料を確実に確保し安定的な生産量の確保と経営の安定に努めてまいります。

**五つ目は、「自信あふれる橋原人を育てるまちづくり」**

0歳から18歳までの「保幼小中高一貫教育」を目指すとともに、町内どこでも本が読める場、知識を共有する場として、町内全域を森の中の図書館として、喫茶店でも集会所でも診療所でも集う場であれば、どこでも本が読める仕組みの「ゆすはら丸ごと図書館」の整備に向けて、ゆすはら丸ごと図書館づくり委員会員の提言に基づいて、人・本・文化をつなぐ架け橋となる図書館づくりに取り組んでまいります。

**六つ目は、「移住・定住対策について」**

若い世代の結婚、出産、子育てについては、特に、出生率は女性の社会に対する信頼の指標とも言えます。この橋原で、子どもを育てることが、母親自身、夫婦にとって、子どもの将来にとって希望につながるかどうか問われています。

そのために、保育所の無料化に引き続き幼稚園の無料化、また、現在の橋原こども園を幼保連携型認定こども園とし、保育時間を三十分延長するなど、子育ての支援をしてまいります。

また、空き家改修・住宅整備支援、雇用の場の確保等の条件整備を図るとともに、移住定住コーディネーターを総合窓口として、全国各地域で移住定住のPR活動や移住者をサポートする16名の「暮らそう橋原でサポート町民会議」と連携を図ってまいります。

こうした「小さな拠点 ゆすはら」づくりを目指して、国、県、大学、企業、金融機関と連携して、人口減少に立ち向かってまいりたいと考えています。

**「対話と満足度」を高める  
役場がある社会づくり**

いよいよ地方創生の名のごとく、地方の在り方と生き方が問われ、求められることになりました。

特に、国、県に大きく財源を依存している本町においては、限られた財源で橋原町の地域社会と住民の思いを達成し、いかに生きるか、その生きる仕組みづくりが求められています。

そのためには、様々な情報を持つている役場職員の役割は大きく、職員皆で心一つに、全ての事業を連携する協働作業が必要であります。

その作業を進めるためには、「伝え合う」「語り合う」「支え合う」ことが、最も大切であり、三つの言葉を常に意識するため、本年の「目標」とし、全力で取り組んでまいりたいと考えています。

橋原の生き方の方向を決める重要な年であります。

今を生きている私たちが「ふるさとゆすはら」を絶えることなく、未来に引き継いでいかななくてはなりません。

時代は大きく変化しております。

今までの社会の在り方、行政の在り方を時代にふさわしいものに変えられるかどうかにかかっていると考えております。

私は、そうした今こそ、橋原が選ばれる地域社会となるための基本を「絆と自立」とし、社会の変化に対応し成長できる社会づくりが重要と考えています。

つまり、橋原町は目的をしっかりと持ち、基本を大切に社会の変化にたえる仕組みをつくり、多くの方々と関係を築き、支援をいただき、それに見合う

価値を提供しながら、仲間や応援団を世界に広げ橋原を発展させ未来に引き継ぐことであります。

いくら、近代化が進んでも、情報が秒単位で世界を駆け巡っても、文化を引き継ぐのは「人」であります。

そのために、「人」、橋原人の育成を柱に、過去に学び職員を督励し町民の皆様の思いを、熱き心を一つにする取り組みを進めながら「選ばれる町」となるために全身全霊を注いでまいります。



川西路白谷地区の皆さんの力作です！



# 梶原町の組織機構及び職員配置表 H27.4 現在

		<b>議会事務局</b>		事務局長 二宮 健志	
町 長 矢野 富夫	副 町 長 吉田 尚人	<b>総務課</b>		課長 山本 正澄	
		総務係		条例・規則 町有財産の管理総括 町営住宅の管理運営 庁舎環境管理システム 町長秘書業務	
		係長		石川 智也 松山 真弓(秘書)・立道 直美・中越 香菜 本龍 美智子・田尾 由紀	
		危機管理係		自主防災組織 消防 防災・災害対策 情報通信施設 危機管理全般 交通安全 交通共催	
		係長		高橋 里香 魚濱 聡海	
		税務係		町税の賦課徴収 国民健康保険税 税務全般	
		係長		岡本 浩一 笛木 保志・中越 絵里子	
		住民係		戸籍 住民登録 印鑑登録 埋火葬許可 外国人登録 国民年金 各種証明	
		係長		上川 尚子 中越 未来	
				<b>企画財政課</b>	
		企画・定住対策係		町行政の企画調整 陳情・要望 行政改革 若者等の定住対策 統計 政策企画全般	
		係長		立道 斉 来米 真子 移住定住コーディネーター 片岡 幸作	
		財政係		予算編成 町財政計画・町債 財政全般	
		係長		中越 千晴 堀 情二	
		まちひと・しごと創生係		まち・ひと・しごと創生事業 集落活動センター ゆすはら応援隊	
		係長		山本 和正 松本 裕子	
		<b>環境整備課</b>		課長 矢野 準也 (兼工事検査長) 参事 中越 健三	
		建設係		道路整備・管理 防災・災害復旧 農林業基盤整備 まちづくり基盤整備 土木・建築 登記事務	
		係長		上田 真悟 坂本 重文(登記担当)・下村 雪晃 那須 千裕・横川 拓也	
		生活環境係		上・下水道 景観の保護・保全 し尿処理・廃棄物処理 狂犬病予防・死亡獣畜 昆虫駆除 清掃 墓地	
		係長		大川 真一郎 國元 憲法	
		環境モデル都市推進室		環境モデル都市 風力発電等新エネルギー 木質バイオマス地域循環モデル事業 資源・エネルギー全般	
		室長(兼)		中越 健三 吉村 貴久	
		<b>産業振興課</b>		課長 来米 修作 参事 鉢村 勉 (特命林政担当)	
		農政係		農業・畜産業 津野山畜産公社 鳥獣被害対策	
		係長		下村 千佳 秋田 耕司 農業コーディネーター 西村 信明	
		林政係		林業 伐採届 森林所有者届 火入れ許可 狩猟・鳥獣飼養・有害駆除	
		係長		川村 幸司 中越 裕也 林政コーディネーター 鉢村 勉(兼)	
		商工観光係		商工業 観光業 水産業 計量検査 自然公園管理 太郎川公園管理運営 産業振興・地域振興	
		係長		花田 多恵 那須 俊男・吉村 恋子 商工観光コーディネーター 大崎 一統(委嘱)	
		<b>出納室</b>		出納室長 川上 博明 (兼会計管理者)	
		出納係		出納事務 決算の調製 資金計画 基金管理	
		松浦 あゆみ			

保健福祉支援センター

G M 内田 望  
センター長 橋田 淳一

健康増進係 健康づくり 疾病予防 各種健診 健康相談・保健指導

係長 大崎 和江 久岡 俊彦・上田 加恵・朝比奈 青里花  
中村 早苗・吉村 恵子

福祉係 高齢者福祉 障害者福祉 母子(父子)福祉 児童福祉  
福祉医療 高齢者合宿施設 民生委員 生活保護 援護

係長 中越 佐由美 山本 智也・岡上 奈布

介護保険係 介護保険

係長 西村 ゆかり

地域包括支援センター 介護保険認定調査 総合相談支援 介護予防支援計画書の作成  
包括的ケアマネジメント 介護予防 在宅介護

係長 兼 所長 太田 寛代 中越 沙織・池田 朋宏

医療保険係 国民健康保険 後期高齢者医療

係長 山下 三千恵 山内 孝信

栲原病院

院長 内田 望  
副院長 盛實 篤史  
事務長 明神 孝洋

医師

石田 青鳥・佐藤 真紀・熱海 千尋

病院事務

主 事 高山 愛 (医療事務は外部委託)

技 師

臨床検査技師：神明 峰代 薬 剤 師：有岡 憲里  
放射線技師：柳本 禎久 理学療法士：川澤 和郎・吉岡 佳栄  
管理栄養士：徳久 祐子

看護師

看護師長 井関 生恵・笹岡 ゆかり  
主任看護師 石田 由深  
看護師 中越 祝子・森山 千鶴子・松田 和子・川上 智恵  
中越 朋子・西村 佳代・沢田 美喜子・久岡 恵美・上田 祐平  
西村 由紀子・明神 美穂・松坂 香・川上 光恵・中越 正  
中越 俊孝・梅下 優子・中越 明子・上田 愛子・岡崎 紀代

松原診療所

所長 宜保 美紀  
事務長(兼) 明神 孝洋 (医療事務は外部委託)

医師 佐藤 真紀(兼)

看護師 松田 和子(兼)

四万川診療所

所長(兼) 盛實 篤史  
事務長(兼) 明神 孝洋 (医療事務は外部委託)

医師 石田 青鳥(兼)

看護師 森山 千鶴子(兼)

歯科診療所

指定管理者 (栲原歯科 代表 橘 宏幸)

# 教育委員会組織機構及び職員配置表 H27.4 現在



**選挙管理委員会** — **事務局**  
 局長(兼) 山本 正澄 石川 智也(兼)・立道 直美(兼)・中越 香菜(兼)

**農業委員会** — **事務局**  
 局長(兼) 来米 修作 下村 千佳(兼)

## 退職者・転任者

平成27年3月31日付で、次の方が退職・転任されました。

退職者	
藤原 学 (梶原病院 副院長)	中越 幸織 (こども園 教諭)
上田 善啓 (梶原病院 事務長)	山本 萌 (生涯学習課)
西村 知恵子 (梶原病院 看護師)	新谷 隆文 (環境整備課)
津野 留美 (生涯学習課)	影山 良介 (ゆすはら応援隊)
転任者	
中川 大輔 (馬路村立 馬路診療所)	

# 春の人事異動



## 栲原学園

### 小学校の部

○転入・町内移動

(教諭)

片岡 正秋 秦小学校より

石村 祐子 栲原町教育委員会より

(養護教諭)

志手 志乃 影野小学校より

(講師)

今橋 周平

○転出

山本 さち 中央小学校へ

池畠 有 研究生として

高知県教育センターへ

(養護教諭)

市川 純子 戸波小学校へ

○退職

坂本 麻由

(教諭)

山下由香利

○転入

香長中学校より

(教諭)

林 克晋 窪川中学校より

山下由香利

香長中学校より

窪川中学校より

### 中学校の部

(講師)

仲松 健嗣 CS加配

野島 円 朝ヶ丘中学校より

○転出

長谷川尚子 大方中学校へ

河野 加奈 県立高知南中学校へ

奥崎 公太 福井県へ(人事交流)

(教諭)

上岡 美保 須崎高校より

(校長)

山下 聖 室戸高校より

岩崎 智久 岡豊高校より

松岡 光信 岡豊高校より

小松 洋一 須崎高校より

(事務長)

長岡さおり 高知北高校より

(講師)

山崎 昭

宮本 雄太

田村 佳織

山崎 雅憲

吉田 隼

中谷 大介

## 栲原高等学校

○転出

正木 秀市 安芸高校へ

(校長)

藤澤 誉文 高知西高校へ

小松 桂子 須崎高校へ

松本 悠希 四万十高校へ

(事務長)

大西 多津 日高養護学校へ

(講師)

山崎 昭

宮本 雄太

久保 拓也

岩郷 源宣

横川 恒雄

武内 利訓

### 県職員等

(栲原駐在所) 所長

○転出 河上 博

○転入 石建 博章

# こんな“けし”を見つけたら、福祉保健所まで連絡を！



けしの仲間は、通常4月から6月にかけて美しい大きな花を咲かせますが、その一部には、法律で栽培が禁止されているものがあり、誤って庭先などに植えられている事例があります。

お心当たりのある方は、勝手に抜かず、須崎福祉保健所までご連絡をお願いいたします。



- ① 花びらは一重のものや、八重のものなど様々ある赤、薄紫、白、桃などの色がある
- ② 葉は互い違いに茎につき、茎を抱き込むような形
- ③ 葉や茎にほとんど毛がない

【連絡先】須崎福祉保健所 衛生環境課 ☎0889-42-1999

# 平成27年度 梶原町森林組合 通常総代会開催

3月26日(木)、平成27年度通常総代会を、町、町議会、県出先機関、関係団体の臨席のもと、総代員数197名中、133名(実出席88名、委任状14名、書面31名)の出席を得て、地域活力センターで開催しました。

組合長挨拶に引き続き、来賓の吉田尚人副町長、黒岩準彦須崎林業事務所長、戸田文友森林組合連合会会長から祝辞をいただき、議長に高橋基文町議会議長が就任し、第一号議案から第六号議案まで慎重な審議が行われ、全議案が提案どおり承認されました。

## 組合長挨拶の要旨

平成26年度組合事業の指導部門では、間伐や作業道開設の補助金申請には絶対必要な森林経営計画作成のため、森林所有者に間伐などの計画について意向確認作業を進め、本年3月末の策定予定面積は9556haで町内私有林面積の約61%となる見込みで、梶原町の計画策定面積は高知県下でトップの策定率となっています。

森林整備部門の間伐事業では、団地化した利用間伐受託事業を進め、梶原町の間伐材搬出素材1㎡当たり2000円、ペレット原材料1t当たり2400円の水源地域森林整備交付金事業により、森林所有者への還元もより多く配分する事ができました。

加工部門では、四国や関西地域の工務店・設計士事務所との販売ネットワークを活用し、家族単位やバスツアーを受け入れ、伐採祈願祭や製材工場の見学会開催や工務店主催の勉強会でのプレゼンテーションなどを行いました。駆け込み需要の反動で厳しい製品市場環境でしたが、安心・安全な梶原産材での住宅建築を希望する工務店や施工主様の増加でFSCブランドでの消費者直結販売が好調でした。

厳しい平成26年度の組合経営環境の中で、特に、夏の集中豪雨や長雨、年末の積雪など事業展開が思わしくない状況もあって税引き前当期利益では赤字となりましたが、前期繰越剰余金もあったことで、当期末処分剰余金を計上する

ことができました。

これもひとえに高知県、梶原町ご当局並びに梶原町議会を始め関係機関のご指導とご支援、また、組合員の皆様のご理解、ご協力の賜であり深く感謝を申し上げます。

## 平成27年度の事業計画

平成27年度の事業計画では、組合が昨年の秋行いました地域説明会で、今後の森林管理について意向調査を行った結果、森林所有者の高齢化、町内不在所有者の増加が進む中、大多数の所有者が今後の森林管理及び施業の実行を、第三者に依頼する意向があり、中でも森林組合への期待は大きくなっています。

この事を受け、組合による森林の長期管理委託業務の受託について、実施内容・方法など行政等の指導を受け検討してまいります。

また利用間伐を中心とした森林施業を実行できる人材の確保・育成を進めるとともに、機械設備の導入、林内路網の整備を行い実行面積及び原木取扱量の拡大を目指します。組合直営班の拡充・育成と併せ、各地域で小グループ作業班の編成について可能性を調査し、作業班組織編成について努力してまいります。また、木材の取扱量増大に備え山元貯木場の拡大についても検討してまいります。

なお、販売事業での原木丸太やペレット材の買取事業を開始以来長年に亘り、手数料5%で行ってまいりましたが、原木単価の下落、燃料その他の諸経費の高騰などにより、近隣原木市場と同等の7%に、4月1日受け入れ材より適用させていただきましたので、ご理解をいただき、ご協力を賜りますようお願い致します。

管理部門では「中期経営計画」を見直し実行してまいります。人材養成では、森林施業プランナーや伐採・搬出、加工技術の向上、販売営業担当者などの育成を行います。

森林整備部門では、森林経営計画を樹立・実行していく中で、高知県、梶原町の指導を賜り、

林業事業体、自伐林家との連携を強化して、作業道の開設・利用間伐を推進してまいります。加工販売部門では、素材やペレット原木の取り扱いを行いFSC及びJASブランドを活用して安心安全な住宅部材の供給販売を進めてまいります。

平成27年度梶原町の当初予算で梶原町水源地域森林整備交付金を間伐素材1㎡当たり4000円に、ペレット1t当たり4800円に、それぞれ大幅アップしていただき、ペレット材については皆伐材や林道、作業道の支障木なども対象としていただきました。

こうした機会に、組合員の皆様に利用間伐の実行を勧め、この資源を活用した「森林・林業の振興による地方創生」を目指し、努力してまいります。

本年度も引き続き厳しい状況が予想されますが、役員員一致結束して事業を推進してまいりますので、組合員をはじめ関係機関の皆様のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 【参事選任】

総代会終了後、理事会を開催し、次の通り選任されましたのでお知らせします。

○参事 森山 真二



# 行政相談委員 のご紹介

梶原町担当の行政相談委員に、4月1日付けで、志手功委員が再委嘱されました。

行政相談委員は、総務大臣の委嘱を受け、住民の皆さんからの相談をお聴きする民間有識者の方です。

委員は、①国の仕事 ②JR、NTT等の特殊法人の仕事 ③県や市町村が国の補助を受けて行っている仕事などについて、住民の皆さんからの相談を受け、その解決や実現のお手伝いをしています。

相談は、梶原病院3階会議室で定期的開設される相談所で受け付けています。

平成27年度予定は次のとおりです。

開設月日	時間	開設月日	時間
4月15日(水)	10:00~15:00	10月21日(水)	10:00~15:00
5月20日(水)	9:00~12:00	11月18日(水)	9:00~12:00
6月1日(月)	10:00~15:00	12月4日(金)	10:00~15:00
7月15日(水)	9:00~12:00	1月20日(水)	9:00~12:00
8月19日(水)	10:00~15:00	2月17日(水)	10:00~15:00
9月16日(水)	9:00~12:00	3月16日(水)	9:00~12:00



志手功さん

## 四国カルスト台地で、新たな風力発電 施設設置の調査・検討を行います

本町は平成11年3月に梶原町地域新エネルギービジョンを策定し、四国カルストに600kwの風車を2基建設しました。その後、売電による収入で間伐促進のための補助金や住宅への太陽光発電施設設置の補助金等の財源として活用してきたところです。

また、風力発電の他に小水力発電を行うなど新エネルギーの活用をすすめる1月に環境モデル都市の認定を受けたことを契機に町内電気自給率100%を目指し平成22年1月17日に梶原町風力発電設置検討委員会を立ち上げ四国カルスト台地の風力発電施設建設の検討を行ってきました。

また、平成25年8月12日には議会において風力発電調査特別委員会が設置され、議会とともに現地視察や研修会を行い、平成26年11月10日に議会の風力発電調査特別

委員会からの最終報告として風力発電事業に関する基本協定の締結



に対する了承を受け、平成27年2月9日に本町と高知県及び高松市に本社のある四電エンジニアリング株式会社との三者間で、「梶原町内に設置を検討する風力発電事業に関する基本協定」の締結を行いました。

この協定は、梶原町の四国カルスト台地に現在ある2基の風車とは別に新たな風力発電施設の設置を検討するもので、電気エネルギーの導入促進を図り、そこから得られる利益を、さまざまな住民サービスや新たな産業づくり、雇用の創出等に活用することにより、地域へ還元していくため、三者が協力し、本事業の実施に向けての可能性を検討する目的に行われるものです。

今後は、三者がそれぞれの役割のもと協力をしながら以下の項目について取り組みを行います。

- ① 風況調査や環境影響評価調査の実施
- ② 隣接する自治体及び地権者との合意形成に向けての協議
- ③ 事業運営会社SPC(特別目的会社)の設立検討
- ④ 四国電力との系統連系枠の確保

## 5月の行事予定

- 9日(土) 環境整備デイ
- 10日(日) 小学校修学旅行(12日まで)
- 11日(月) 春の交通安全運動(20日まで)
- 12日(火) 小児健診
- 13日(水) 第17回梶原町雲の上杯ゲートボール大会
- 16日(土) 高吾地区中央支部体育大会(17日まで)
- 20日(水) 梶原町交通安全の日  
行政相談(9:00~12:00)  
中学校修学旅行(23日まで)  
8年生職業体験(25日まで)
- 22日(金) 狂犬病予防接種
- 23日(土) 高知県高等学校体育大会(25日まで)
- 24日(日) 第27回町長杯争奪ゲートボール大会
- 29日(金) 小学校3・4年生社会科見学

夢・未来館

# 図書室だより

図書室 開室時間  
午前8:30～午後8:00まで

今月、23日からは『子どもの読書週間』です。今年の標語は『本は キラキラ 万華鏡』。学校の工作の時間、色紙やビーズがさまざまな模様を作り、のぞくたびに変わった表情を見せてくれて、思わず夢中になってしまった万華鏡…。開くたびに千差万別の世界を見せてくれるその万華鏡のように、本のすてきな世界をたくさんのぞいてみて…!というメッセージが込められています。

幼い頃から、たくさんの本に触れて・見て・知って・感じて、そこから生涯に通ずる豊かな心を創造するための、手掛かりにしてもらえたらと、思います。

そしてまさに春爛漫の今、4月から、新しい生活が始まる方の多いこの季節。この機会に今一度、お部屋の中を見渡してみたら、図書室から借りたままになってしまっている本がありませんか? 戻ってきていない図書室の本があります…。

図書室の本は誰かひとりのモノではなく、図書室を利用するみんなのモノであり、多くの人が、読みたいと思っている本が返却されてくるのを、ずっと心待ちにしています!なので、返し忘れていた本があれば至急、返却ボックスへ入れておいてくださいね!

## 今月の入荷図書

### 怪しい店

著：有栖川 有栖

誰にも言えない悩みをただただ聞いてくれる不思議なお店「みみや」。その女性店主が殺された。犯罪学者 火村英生と推理作家 有栖川有栖が謎に挑む表題作「怪しい店」ほか、様々な店を舞台にした傑作ミステリー!



### 火花

著：又吉 直樹

笑いとは何か、人間とは何かを描ききった又吉直樹のデビュー小説!売れない芸人徳永は、師として仰ぐべき先輩神谷に出会った。そのお笑い哲学に心酔しつつ別の道を歩む徳永。二人の運命は…!?



### おまめごとの島

著：中澤 日菜子

親友を頼り、東京から小豆島へやってきた内向的な 30 代イケメン・秋彦。島のホテルで仕事を始めるが、恋も結婚も諦めたアラフォー女性言問子と、家庭から逃げ出したいアラサー主婦真奈美の間で、彼を巡りイザコザ発生!

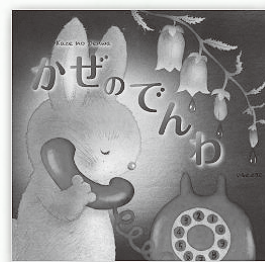


島へ逃げるしかなかった秋彦の内面が明らかになっていく…。次代を担う新鋭・中澤日菜子の家族小説。

### かぜのでんわ

著：いもと ようこ

つたえて、あのひとに…やまのうえに 1 だいでんわがおいてあります。きょうも だれかが やってきました。せんのつながっていないそのでんわでこころではなしをするために…。



## その他の新入荷本

- ★綾辻行人殺人事件 主たちの館(綾辻 行人)   ★鬼のおくりもの(榊形 浩人)
- ★探偵チームKZ事件ノート 黄金の雨は知っている(住滝 良)   ★ありがとさん(いもと ようこ)
- ★まんま あーん(三角 芳子)   ★だっだあー(ナムーラ ミチヨ)   ★おめんです(いしかわ こうじ)

# けんこうふれあいコーナー 年に一度は健康チェックしてますか？

健診を受けることで病気の発見ができ、早い時期に治療をすることが出来ます。そして、自身の健康状態を確認し、生活習慣を振り返る大切な機会になります。

年に一度は健診を受けて健康チェックをしましょう。

## 地区総合健診が

### 6月から始まります。

地区総合健診で受けることができる健診は次の四つです。

- ① 肺がん検診
- ② 大腸がん検診
- ③ 胃がん検診
- ④ 健康診査（特定健診）

## 対象者

国保加入者又は、社会保険の被扶養者

- ① ③は40歳以上の方
- ④は18歳以上の方
- ④については、18歳～39歳、75歳以上の方は健康診査（一部の方は特定健診）
- 40歳以上74歳の方は特定健診

★75歳以上の一部の方について  
前年の11月から今年の1月ま

で生活習慣病で病院にかかってない方で、かつ6カ月以上入院してない方、施設入所でない方です。

★事業所にお勤めの方（被用者保険の本人）は、事業所の健診を受けるようにしてください。

しかし、①～③の検診については、事業所で実施する検診で受けることができない方は保健福祉支援センターにお問い合わせください。

## 日曜健診を実施します。

「平日の健診は仕事があるため受けることが難しい。」という方にはぜひおすすめです。場所は役場アトリウムで行います。ただし、日曜健診では女性検診は行いません。

## 個別健診を活用しましょう。

★特定健診（40歳～74歳の方、75歳以上の一部の方）

特定健診受診券と医療保険証があれば契約医療機関（高知県内）で特定健診を受けることができます。特定健診受診券については、国保の方は保健福祉支

援センター、被用者保険の家族の方の場合は職場にお問い合わせください。国保の方は、椿原病院、松原診療所で受診する場合は無料で受診することが出来ます。予約が必要ですので事前に連絡を病院にしてください。人間ドックでも受診券を使用出来る場合がありますので、問い合わせください。

## 女性検診は10月です。

マンモグラフィ検診は予約が必要です。対象者の方には子宮頸がん検診といっしょに地区の健康文化の里づくり推進員が9月頃に希望を伺います。

## 対象者

マンモグラフィ検診

40歳以上の方で今年度偶数年の方（2年に1回）

子宮頸がん検診

20歳以上の方で今年度偶数年の方（2年に1回）

\*対象者以外で希望される方は全額自己負担をすれば受診することが出来ます。

\*他のがん検診と同様に事業所

で実施する検診で受けることができない方は受けることができます。

## ★子宮頸がん検診

子宮頸がん検診も医療機関での個別健診を受けることができます。

## 問い合わせ先

保健福祉支援センター  
健康増進係 ☎65-11170

## 【各地区総合健診日程】

松原区	6月24日(水)	松原体育館
越知面区	6月25日(木)	旧越知面小学校
四万川区	6月26日(金)	旧四万川小学校
東区・初瀬区	8月26日(水)	健康増進センター(大越)
東区	8月27日(木)	健康増進センター(大越)
西区	8月28日(金)	健康増進センター(大越)
日曜健診	11月15日(日)	役場総合庁舎

## 雲の上の元気券 （温泉・プール券1枚綴） 補助事業について

平成27年度から町民の健康づくりを目的に「雲の上の元気券補助事業」が始まります。

対象者は、町内に住所を有する、年度末年齢で40歳以上75歳未満の方です。特定健診を受診または受診予定の方は、年間「雲の上の元気券」を一冊5000円のところを2000円で2冊まで購入できます。75歳以上の方は、「雲の上の元気券」を年間一冊無料で交付します。健診を受け早期発見、早期治療に努めてください。なお、「雲の上の元気券」は、椿原町商工会に申請してください。

詳しくは、保健福祉支援センターにお問い合わせください。  
【問い合わせ先】  
保健福祉支援センター  
健康増進係  
電話 65-11170





### 梶原町学校応援団地域活動部会「俳句教室」

## 日本赤十字社主催「第9回いのちと献血俳句コンテスト」団体賞受賞

学校応援団地域活動部会では地域の方を講師に招き、小学生向けの教室を開催しています。

その中の「俳句教室」(講師・掛橋初子さん)が昨年度に続いて2年連続「第9回いのちと献血俳句コンテスト」団体賞を受賞しました。応募作品の中から俳句をいくつか紹介します。



うんどうかい  
あかまけちやったくやしいな  
1年 森山心遙

冬が来るどうぶつたちもいそがしい  
2年 吉岡 勇

弟がダジャレを言えば山笑う  
4年 山本みな子

思い出が いっぱいつまった俳句帳  
4年 矢野ひかる

自転車で一直線に夏雲へ  
5年 前田実袖

## 健康文化の里づくり推進員制度 「厚生労働大臣表彰」受賞



本町の健康づくり事業の中心をなす「健康文化の里づくり推進員制度」も、昭和52年度発足以来、本年度38年目を迎えました。

このたび同制度が、平成26年度公衆衛生事業功労者の団体の部で「厚生労働大臣表彰」を受賞しました。これは長きにわたり町民の皆様と行政が一体となって地道に健診受診率の向上等の健康づくりに取り組んできた結果、特定健診の受診率が毎年75%前後と全国トップクラスとなったこと等によるものです。今回の受賞により、平成5年の衛生組織連合会及び平成23年の食生活改善推進協議会(通称エプロン会)の「厚生労働大臣表彰」と併せ町内3団体が大臣表彰を受賞するという快挙を成し遂げました。

今後におきましても、健康文化の里づくり推進員制度にご協力いただき、「自分の健康は自分で守る」を合言葉に同制度が未来永劫に継続されますようお願い申し上げます。

## 5月の保健福祉支援センター行事予定

- 1日(金) 初瀬いきいき
- 6日(水) 陽だまり健康相談
- 7日(木) 松原サテライト
- 8日(金) 四万川託老所
- 12日(火) 小児健診
- 14日(木) 越知面デイ友の会
- 15日(金) 東区いきいき
- 29日(金) 四万川いきいき
- 31日(日) 高知県障害者スポーツ大会

※毎週月曜日…予防接種日：不活化ポリオ、三種混合、四種混合、麻疹・風疹、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ・小児肺炎球菌ワクチン、水ぼうそう

※毎週水曜日…陽だまり、育児サークル

※ゆすっ子相談センター相談日…12日(火)、19日(火)、26日(火) 〈各 午後〉

※川畑 真理子 心理カウンセラー相談日…26日(火)

# アレックスの 奇妙な冒険



橋原町 ALT  
アレックスサンダー・ヘイ

## 第七部：季節の変わり目は、自分をふり返る時期でもあること

雪の最後のひとかけらも、とうとう消え去ったようです。道沿いの、桜のつぼみもふくらみ始めました。僕にとっては、これが日本で迎える15年ぶりの春になります。今年最初の蚊を運んでくる、やわらかなそよ風に吹かれる中、かなりのむずがゆさをともなうくしゃみをしながら、春の野外を散策するのが待ち遠しい限りです。

最近、僕より7歳年下の先生に弟子入りして、川釣りを始めました。橋原の川は、泳いでいる魚の大きさがはっきりわかるくらい澄みきっているにもかかわらず、5時間かけてようやく1匹釣れただけでした。ちなみに、その同じ時間で、僕の先生は、夜店の金魚すくいでもやっているんじゃないか、というぐらいにひよひよいと釣りあげていました……。釣りをしている間、子どもの頃によく遊んでいたゲーム『どうぶつ森』を思い出していました。ご存知の方もいらっしゃるでしょうが、このゲームの中では、プレイヤーは自分の町を広げ、魚や昆虫を捕まえることができますし、捕まえたこうした生き物をお店で売って、お金に換えることもできます。これが現実でも可能なら、あのカメムシどもをスーパー丸味で売り飛ばして、札束に囲まれた生活を送れることでしょうが(そう甘くはありませんね)……。



橋原川で釣りを楽しみました！

学園では、中学校と小学校の卒業式に参加しました。学校生活を一緒に過ごした9年生たち(素晴らしい新生活が待っていますように!)と、もうじき僕が英語を教えることになる6年生たちの様子は、とても感動的でした。子どもたちと先生方が、式中の送辞・答辞・式辞や歌に取り組む時のなみなみならぬ熱意には本当にびっくりさせられましたし、もう少しのところで僕は泣き出すところでした。

物事の移り変わりはいつでも起こっているものですが、春というこの時期に、いちばん実感できるように思えます。それはやはり、そうした変化がはっきりと目に見える形をとるからなのでしょう。僕がこの「奇妙な冒険」を始めようとした時、ALTとして過ごす中でどんなことをやりとげたいか、目標リストを作ったものでした。今の時点で、その一部は何とか目標に到達できているように感じていますが、その他の大部分をやりとげるには、まだまだ努力がいりそうです。それでは皆さん、すてきな春をお迎えください。

(翻訳・日本語修正：森竹 弘喜〈町ALT〉)

## くらしの悩みごと相談所

高知地方法務局と高知人権擁護委員協議会では、高知よさこい咲都合同庁舎にて、弁護士・司法書士資格を有する人権擁護委員による「くらしの悩みごと相談所」を開催します。相談は無料で、相談内容の秘密は厳守します。

【問い合わせ】

高知地方法務局人権擁護課(☎ 088-822-3503)

①日時…平成27年6月2日(火)

午前10時～正午まで

午後1時～午後4時まで

(相談受付は午後3時30分まで)

②会場…高知よさこい咲都合同庁舎9階

③相談担当者…弁護士・司法書士資格を有する人権擁護委員

④相談内容…差別待遇、暴行・虐待、いじめ、DV等、家庭及び近隣関係等における法律・人権問題に関するあらゆる相談

# 榑原学園だより

第40号



## 2分の1成人式

3月7日(土) 小学校4年生が2分の1成人式を行いました。満10歳を迎え、保護者や地域の方々に感謝の気持ちを表し、これからの成長に向けた新たな決意を自ら表現する場となりました。

保護者の方々からは幼少期の思い出や今後の成長を願う想いを手紙に託して、子どもたち一人ひとりに手渡ししました。保護者の温かい想いに触れ、子どもたちは感動し、これからの生き方を考えることのできる式となりました。



## 立志式

3月17日(火) 中学校1年生(7年生)の立志式が行われました。小中一貫校榑原学園では1年生から9年生までを4・3・3・2のブロックを意識した取り組みをしています。そのなかで中期ブロックの最終学年の7年生で立志式を行っています。

立志式では生徒一人ひとりが将来の夢に向けた、今後、2年間の具体的な取り組みと決意を表明しました。たくさんの方々の保護者の方々も参加をしていただくことができました。保護者の方々も子どもたちの成長に感動し、今後の活躍を期待を込めて聞くことができました。

子どもたちの可能性は無限です。学校と保護者の方々が連携し、可能性をみいだし、伸ばしていくようにこれからもご協力をよろしくお願いたします。



## 卒業式

小中一貫校榑原学園の小中学校卒業式が行われ、榑原学園の第4期の卒業生が巣立っていきましました。式ではたくさんの方々の保護者や来賓の方々・関係者の方々をお迎えし、厳かな中で、校長先生より一人ひとりが卒業証書を授与されました。中学校は29名が学園を巣立っていきましました。進学する高校は違いますが、同じ敷地内で生活を送り、他の学校ではできないたくさんの方々の経験を生かして、それぞれ目指す道に向かって頑張ってください。

また、小学校を卒業した25名は小学生のリーダーとして、1年間よく頑張りました。中学生となる決意を新たに今後は新たに7年生として小中一貫校を支えていってほしいと願っています。

卒業式当日の様子



## 離任式

平成27年度の高知県教職員人事異動が発表され、榑原学園を去られる教職員の離任式が3月24日(火)に行われました。在校生だけでなく、卒業生も参加して行われた式では、児童生徒会から、心を込めたお礼の言葉が贈られ、式の最後には全校生徒が先生方のこれからの活躍を願い、花道をつくりお別れをしました。榑原町で過ごした期間はそれぞれ違いますが、「榑原人」を育てるために児童生徒と過ごした学園での日々は、きつと忘れることができない思い出となったはずです。ぜひ、新しい赴任校でも今まで同様のご活躍をお祈りしています。

- 山本 さち 教諭(津野町立中央小学校)
- 市川 純子 養護教諭(土佐市立戸波小学校)
- 坂本 麻由 教諭(退職)
- 竹森 鈴子 支援員(退職)
- 長谷川 尚子 教諭(黒潮町立大方中学校)
- 河野 加奈 教諭(高知県立高知南中学校)
- 中越 洋子 支援員(榑原こども園)

# 平成26年度 梶原学園表彰

本年度に各コンクール・県展・部活動等で優秀な成績を収めた児童・生徒を、矢野町長が表彰しました。

## 各部門の受賞者

### ●人権コンテスト特別賞

作品名「私はアンパンマンになりたい」  
5年生 前田実柚さん

### ●「南海トラフ地震に備えよう」啓発ポスター・標語コンクール

作品名「すぐそこに防災グッズと絆あり」  
5年生 川上麻衣さん

### ●高知県中学校野球強化選手

8年生 明神孝亮さん

### ●税に関する作品(習字)銀賞

5年生 廣瀬 琳さん

### ●こども小砂丘賞優良

2年生 明神 洋克さん

### ●第65回こども県展 総合の部 優秀校

梶原小・中学校

### 【図画】 部 優秀校

梶原小学校

### 【図画】 小 学 校

### 推 薦

1年生 西村妃夏さん

### 特 選

1年生 上川 大智さん  
3年生 上川 咲さん  
3年生 下元 春輝さん  
3年生 三木 嵩規さん  
3年生 明神 琴巳さん  
4年生 下元 祥平さん  
4年生 高橋 梓さん  
5年生 大野 尚洋さん  
5年生 川上 麻衣さん  
5年生 前田 実柚さん

### 入 優 選

45 16人

### 【毛筆】 入 優 選

### 入 優 選

32 17人

### 【硬筆】 入 優 選

### 入 優 選

44 28人

### 【図画】 中 学 校

### 特 選

9年生 徳弘 恵さん

### 入 優 選

25 12人

### 【毛筆】 入 優 選

### 入 優 選

26 12人

### 【硬筆】 入 優 選

### 入 優 選

25 13人



# 4月から心理カウンセリング が始まります！

川畑先生は、平成16年頃からゆすつこ相談精神保健学習会講師や、梶原町精神障害者家族会講師として本町の精神保健事業に関わってくれています。現在は日本DV防止・情報センタリー運営委員や、企業などでのセラピー&カウンセリングのスーパーバイザーなど広い分野で活躍されており、また以前から森林セラピーや松原の活性化にも力を注いでくれています。

これからは、定期的に梶原に訪問をしていただくことになっています。



心理カウンセラー  
川畑 真理子さん

## 四国一斉！12時間電話相談

高知地方事務局と高知県人権擁護委員連合会では、下記のとおり12時間電話相談を実施します。相談は無料、秘密は厳守します。



- 実施期間 平成27年6月1日(月)
- 時 間 午前9時～午後9時まで
- 電話番号 012014591737(しこくなやみなし)
- 相談担当者 人権擁護委員、法務局人権擁護課職員
- 取扱内容 差別待遇、暴行・虐待、いじめ、DV等、家庭及び近隣関係等における人権問題に関するあらゆる相談

# 文芸

## えぼし俳句会

春の風ガラスに写す手櫛かな  
 雛納め来年のこと想いつつ  
 下元 澄子  
 ヒネ・バンビ  
 春の水動いて鯉の浮上せり  
 宇都宮由利子  
 草の芽や買ひ替え時の吾子の靴  
 宮崎真由子  
 春の雪落ちたるもののに消ゆ  
 中越 律子  
 仕合せの時を分けあう春の風  
 瀬戸口登貴恵  
 花嫁の箆筒真つ白春の風  
 西村 智子  
 頑張れる人はガンバレ葱坊主  
 千光寺昭子  
 春雷に蘇りくる脳波かな  
 岩元 芙美  
 退職の日の花束に春の風  
 古野 節子  
 ひとつつつ諦めるごと落椿  
 下村 弘花  
 脱藩の道辺瑠璃濃き犬ふぐり  
 岩井 章子

## 杉の子俳句会

春耕や湯舟で手足もみほぐす  
 西村 幸枝  
 春の水集めて青し大轟  
 吉村 招山  
 結納の床に一枝桃の花  
 西村 蓉子  
 野に山に春菜求める足軽し  
 野中案山子  
 頬触れる風柔らかし春隣  
 氏原 陽子  
 早春のお城へくぐる大手門  
 下元 廣幸  
 補助輪をとり一踏みや春の風  
 徳永 逸夫  
 古時計あいつにゃ負けぬ春田打つ  
 小崎みなと  
 水温む主婦のアカギレ日毎よし  
 久光 義恵  
 太くなれ園児育むじやが植える  
 影浦 鉄心  
 早咲きの桜の下や開祖の碑  
 久岡 智子

## 柚子の木俳句会

春の雨下駄屋に美女の立ち寄りて  
 鎌倉 安弘  
 ひなまつり声きくだけで和みあり  
 広瀬 宗子  
 やまなみの涯残雪の剣山  
 広瀬 みえ  
 句友増ゆ笑顔はじける弥生かな  
 佐竹 重子

春の雪花もつぼみも隠しおり

雨あがり咲いた水仙胸はつて

祖母二人桃の節句に顔合わせ

三世代寄り添いならぶ雛祭

春寒やうつぶんも晴らすみじん切り

解禁日第一投に竿しなる

由布院の残雪長し高速度

秋葉様観客沸かす油売り

春めくや合奏の指ままならず  
西村由利子

## 託老所「陽だまり」

少しだけ口紅さして雛のまえ  
 中平 忠雄  
 花咲けど世の中くらく気にかかる  
 中越 郁子  
 選んでもイエスマンでは次はダメ  
 渡辺 瑞枝  
 弥生の日空澄み渡り秋晴れか  
 中越 敬久  
 中越 秋子

## 梶原みどりの家

弥生の日空澄み渡り秋晴れか

# 寄付お礼

このほど、次の方々からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきまます。紙面をもってお礼とご報告を申し上げます。

## 広報へのご寄付

中越 茂春様 愛媛県今治市  
 土居 勝喜様 広島県呉市  
 山下富喜恵様 愛媛県北宇和郡 鬼北町

## その他のご寄付

古市 道子様 坂本川  
 故・廣瀬亀喜氏香典返しとして社会福祉へ  
 川上 寿久様 横貝  
 故・川上隆正氏香典返しとして社会福祉へ  
 中越 眞郷様  
 故・中越準一氏香典返しとして町政発展へ

## 出生

住所	出生者氏名	性別	出生年月日	保護者氏名
大蔵谷	中越 春菜	女	H27.2.19	中越 盛爾
川 井	中越 新太	男	H27.2.25	中越 啓司
川西路	大谷 傑虎	男	H27.3.3	大谷 猛

## 死亡

住所	死亡者氏名	性別	死亡年月日	年齢	世帯主
松 原	清水 國海	男	H27.3.4	79	本人
仲 洞	下元 則男	男	H27.3.11	64	本人
横 貝	川上 隆正	男	H27.3.23	86	本人
本も谷	松浦 恒行	男	H27.3.24	90	松浦博務

# 栲原こども園だより

## おわかれかい♪

一緒に遊んでくれてありがとう!



幼児組で、卒園する年長児とのお別れ会をしました。

きょうりゅうダンスでガオガオガア♪



プレゼントは、ネックレスを作ったよ。



幼児組。全員集合してパチリ!



### ななきくなつたわ!

3月11日。乳児組の参観日では、親子の触れ合い体操や、修了証書渡しなどをしました。



スキンシップをとりながら身体を動かしました。お家でも、たくさん触れ合って遊んでほしいな。



親子での触れ合い遊び♪バスに乗ってゆられてる ゴーゴー!♪



### 編集後記

桜の便りとともにまた巡ってきた新しい季節。

今年はずいといくと、花曇りの日や花の雨が多く、せっかく開き始めた桜が...と、少し残念な気持ちでしたが、雨に濡れた桜も風情があつて綺麗でした。入学式や入社式のシーズンでもあり、私たちの生活の中で、最も光や希望に満ちた季節とも言えますね。

また、なにかと環境の変化が多く、忙しい毎日を過ごしている方も多いかもかもしれません。そんな日々を過ごしているうちに、あつという間に過ぎてしまうのが四月です。

先月25日の高知新聞「声のひろば」に、高校一年生の投稿がありました。日常生活を送る中で夢や目標を持ち、それに向かって日々励んでいるからこそ、充実した時間が過ごせているという内容で、これからも充実した生活が送れるよう、夢や目標を増やしていきたいと結んでいました。

今月号の「アレックスの奇妙な冒険」にも目標のことが書かれています。

私も、忙しいといえども充実した日々が送れるよう、漠然とした目標ではなく、明確な目標を持って新しい一年をスタートしたいと思えます。

広報編集委員会